

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.															
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.2(H21)	調査位置				北緯	36° 24' 52.000"				
発注機関	栃木県下水道管理事務所			調査期間	2009-10-21 ~ 2009-10-22		東経	139° 51' 56.200"			
調査業者名				主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	63.35 m	角度		方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0.00°	使用機種	試験機	ハンマー	ポンプ
総掘進長	18.22 m								エンジン		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日				
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10					20			
0				粘土(礫混じり粘土) (BS)	褐灰		中位	造成時の盛土であり礫混じり粘土が主体 含水量が多く粘性はやや大きい ロームが多く混じる 鹿沼軽石粒が不規則に混入している 2.7-2.8mにアスファルト片混入 3.6-3.7m間に碎石狭む				1.15	1	1	1								
1												1.45	1	1	1								
2												2.15	1	1	1								
3												2.47											
4	59.65	3.70	3.70		ローム (Lm)	褐	中位	含水量は中位で粘性やや小さい 3.85m付近までやや乱れた状態 5.5m付近より炭化物を多く混入している 全体に非常に軟らかい				3.15	1	1	1								
5												3.46											
6	57.35	2.30	6.00		粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐	中くらい	10-50mmの内・亜円礫で構成 礫間は粒径揃いな砂と多量の粘土により充填されている 風化礫が多く混じる 7.1m以深漏水があり孔壁が崩壊し易い				4.15	1	1	3	5							
7												4.45	1	12	1	8	30						
8												5.15	1	33		1	33						
9												5.48											
10	54.85	2.50	8.50		細砂 (FS)	淡褐	緩い	粒径揃いな細砂を呈す 10.25m付近まで粘分が混じる やや緩い締まり具合である				6.15					25						
11												6.45	9	8	8		30						
12												7.15					14						
13												7.45	4	4	6		30						
14												8.15					16						
15												8.45	5	6	5		30						
16												9.15					8						
17												9.45	2	3	3		30						
18												10.15					13						
19												10.45	3	5	5		30						
20												11.15					7						
21												11.45	2	2	3		30						
22												12.15					7						
23												12.45	2	2	3		30						
24												13.15					9						
25												13.45	2	4	3		30						
26												14.15					10						
27												14.45	3	3	4		30						
28												15.15					>50						
29												15.43	11	18	8		28						
30												16.15	50		8		>50						
31												16.23					>50						

17	45.13	3.12	18.22	砂礫 (GS)	淡灰	非常に密な	10-50mmの円・亜円礫で構成されている 礫間は粒径不揃いな砂と少量のシルトにより充填されている 所どころ礫の少ない部分を挟んでいる 漏水はなく孔壁の自立性は高い 非常に締まった堆積状態である	16.15	8	8	>50	10/22
								16.23	50	50	>50	
18	45.13	3.12	18.22	砂礫 (GS)	淡灰	非常に密な	10-50mmの円・亜円礫で構成されている 礫間は粒径不揃いな砂と少量のシルトにより充填されている 所どころ礫の少ない部分を挟んでいる 漏水はなく孔壁の自立性は高い 非常に締まった堆積状態である	17.15	5	5	>50	10/22
								17.20	50	50	>50	
								18.15	7	7	>50	
								18.22				